

寝屋川市みどりの基本計画の改定にかかる
各主体へのヒアリング結果

■目次

ヒアリング実施概要	1
ヒアリング結果概要	1
個別ヒアリングシート概要	
1. 川勝自治会	3
2. ねや川水辺クラブ	5
3. 大和町自治会	7
4. 三井小学校	13
5. 秦の燈台守	15
6. 西寝屋川高校（生物部）	16
7. アスパラの会	18
8. 第九中学校	20
9. 石津南自治会	22

■ヒアリング実施概要

アンケートを行った自治会、学校、NPOの中で、みどりを活用して、まちづくりなど多様な活動に展開している団体にヒアリングを行いました。

表 ヒアリング実施概要

対象		ヒアリング時期	ヒアリング項目
自治会	川勝町自治会	平成 12 月 18 日	1. 活動のきっかけ：背景と目的 2. 取り組み状況 3. 課題や解決方法について
	大和町自治会	平成 12 月 18 日	
	石津南町自治会	平成 12 月 25 日	
学校	三井小学校	平成 12 月 19 日	
	西寝屋川高校	平成 12 月 20 日	
	第九中学校	平成 12 月 25 日	
市民活動団体	ねや川水辺クラブ	平成 12 月 18 日	
	秦の燈台守の会	平成 12 月 20 日	
	アスパラクラブ	平成 12 月 25 日	

■ヒアリング結果概要

表 みどりの活動に関する課題（概要）

ヒアリング内容（活動を進めるにあたっての課題）	課題
<ul style="list-style-type: none"> ○メンバーの高齢化。あと 5 年継続するには、世代交代が必要である。（自治会） ○活動を広げたいが、年齢の問題もあり、困難であることから、会員の若返りが課題（市民活動団体） ○福祉委員会、地域協働協議会、社明などの各々の事業と連携して取り組んでいるが、各組織メンバーはみんな同じのため、負担が大きいのを感じる（学校） ○教頭先生が窓口となっており、連絡調整などは主に教頭先生が担当。学校の体制で活動内容が左右される。（学校） ○PTA の若い世代の参加で新しい色々なことができるが、1 年 1 回の当てるため、継続性が不安定。（学校） 	運営体制の継続が不安定
<ul style="list-style-type: none"> ○学校と連携した行事などは制約があり難しい。（自治会） 	他団地との連携
<ul style="list-style-type: none"> ○会報を年 4～5 回作成し、配付していたが、最近は作業する人材がおらず、発行できていない。（市民活動団体） ○摂南大学等との活動連携や情報交換・発信（学校） 	情報発信に向けた人材、会報など技術の継承
<ul style="list-style-type: none"> ○子ども会の参加も呼びかけたが、平日の参加が難しく、花の育成に子どもが興味を持ってくれないため、参加が広がらない。 ○市民がボランティアに参加する術を知らない。（市民活動団体） 	普及・啓発手法の再考
<ul style="list-style-type: none"> ○種や苗の工面、学校では予算化できない。部活動費、連携先の福祉委員会の活動費（学校） 	緑化推進のための予算の確保
<ul style="list-style-type: none"> ○樹木の枝の剪定など学校緑化を含め植物の維持管理が難しい。（学校） 	技術的サポート

表 みどりの活動を継続するためのポイント（概要）

ヒアリング内容（みどりの活動を継続するためには）	計画に反映すべきポイント
<p>○行政と一緒に活動を進めているところ。お互い顔がみえる関係や、相談窓口があることが大事。いつもコミュニケーションが取れているので、倒木の伐採など安全管理面で市がすぐに対応してくれる。（自治会）</p>	<p>行政との連携</p>
<p>○市の広報で PR や情報発信をしてもらうことが最善策と考えている。（市民活動団体）</p> <p>○遊休地の存在を把握できるように市でリスト化しておいて欲しい。（市民活動団体）</p> <p>○寝屋川ユースネットなどで HP を立ち上げ、常に情報交換を行う（学校）</p>	<p>情報発信</p>
<p>○花を植える空地の確保</p>	<p>活動場所の提供</p>
<p>○社会貢献の一環で企業や大学に参加してもらう。（市民活動団体）</p> <p>○自治会だけでなく、事業者（病院、観光会社）が川勝自治会に存在するので、CSR 活動などに関連させて活動を呼びかけていくことも考えられる。（自治会）</p>	<p>社会貢献活動との連携</p>
<p>○自治会単位ではなく、地域協働協議会（小学校区）や地域教育協議会（中学校区）などの単位で活動を展開することも考えられる（自治会）</p>	<p>地域内で設立された組織同士の連携</p>
<p>○活動を日常化できれば継続できる可能性がある。公民館から花壇は近いので、で日常的にカラオケ、書道、絵画などの活動をしているため、その活動後に散水などを行ってもらえるようにできればと考えている。（自治会）</p> <p>○活動をいっしょに取り組んでいただける地域住民とのつながりを大切にする こと（学校）</p> <p>○子どもと一緒に楽しめる自然観察会やバーベキューのイベント等楽しめる ものが大事。（市民活動団体）</p> <p>○楽しめることをすると若者などみんなが川に訪れる機会が増える。（市民 活動団体）</p>	<p>楽しい活動や趣味など他の活動と緑の活動をセットにし日常化する</p>

1. 川勝自治会

■ヒアリング先 基礎情報

ヒアリング先名	川勝自治会	区分	自治会
実施日時	2017年12月18日(月) 10時00分～11時00分		
ご担当者名	工藤 慎一 様(役職等:自治会長)		

・アンケート自由意見等	当自治会におけるみどりの維持管理の活動は主に老人会が担当しており、高齢化による活動の停滞が懸念されています。みどりに関する活動は全世代の参加が望ましく、より多くの市民が気軽に参加できるように様々な施策が必要と思います。
-------------	---

■ヒアリング内容(白抜き文字は当該団体への個別の質問)

1. 活動のきっかけ(背景)と目的

Q. 活動のきっかけ(背景): ・いつごろ・どのような理由で活動したか・誰がどのように呼びかけたか
○前の自治会長の時代から、国のかわまちづくり事業をきっかけに活動を開始した。その時に川勝水辺広場の整備を行っている。
Q. 目的: 当初の目的と現在の目的(変化していないもの、追加されたものなど)
○川沿いの花壇づくりから、まちなかの花壇づくりに変化した。 ○以前は組織的に活動していなかった。現在は自治会、老人会(帮助会)と寝屋川市の担当者と一緒に定期的に活動するようになった。子ども会にも協力してもらうケースがある。

2. 取り組み状況

Q. 活動場所、活動内容、活動体制、活動資金
○公園緑地等植栽サポーター制度により川勝町サイクルロードの上観音橋から下観音橋の花壇(愛称「美しい川勝ロード」)に花を植えている。(春はペゴニア、秋はパンジー各400ポット) ○花苗や資機材などを市から提供してもらっている。 ○活動回数は月2回、散水などが主な活動内容
Q. 花壇周辺での地域イベントなど
○桜の時期では、花壇周辺で花見イベントなどを行っている。 ○川沿い花壇だけでなく、まちなか(公民館前)にも花を植えるようになった。 ○寝屋川のクリーンリバー作戦の際は川勝水辺広場などを対象に寝屋川の清掃、草刈をおこなっている。 また、摂南大学などの学生がボートを浮かべてくれるなど、子どもが楽しめるイベントも開催している。
Q. 活動の成果(自己評価、地域住民、行政などからの評価)
○地域住民だけでなく、近隣の病院の入院患者の散歩道としても活用されている。 ○また隣の自治会の幸町や国松町の公園や打上川治水緑地を巡るルートにもなっている。

○これまで自治会の花見イベントは打上川治水緑地で行っていた。花壇づくりを実施したことで、花壇周辺の身近な場所で花見イベントを実施するようになった。

Q. 活動を継続できている一番の理由

○行政と一緒に活動を進めているところ。お互い顔がみえる関係や相談窓口があることが大事。いつもコミュニケーションが取れているので、倒木の伐採など安全管理面で市がすぐに対応してくれる。

3. 課題や解決方法について

Q. 課題（立ち上げ期、から中間期、現在まで）

○活動メンバーの高齢化。あと5年継続するには、世代交代が必要
○こども会の参加も呼びかけたが、平日の参加が難しく、花の育成にこどもが興味を持ってくれないため、こどもの参加が広がらない。

Q. 活動を継続していくことや活動の発展を考えるにあたって、具体的にはどのような支援策があれば良いと思うか

○活動を日常化できれば継続できる可能性がある。公民館から花壇は近いので、で日常的にカラオケ、書道、絵画などの活動をしているため、その活動後に散水などを行ってもらえるようにできればと考えている。
○自治会だけでなく、事業者（病院、観光課会社）が川勝自治会に存在するので、CSR活動などに関連させて活動と呼びかけていくことも考えられる。
○自治会単位ではなく、地域協働協議会（小学校区）や地域教育協議会（中学校区）などの単位で活動を展開することも考えられる

2. ねや川水辺クラブ

■ヒアリング先 基礎情報

ヒアリング先名	ねや川水辺クラブ	区分	市民活動団体
実施日時	2017年12月18日(月) 13時30分 ~14時30分		
ご担当者名	立川 亨一 様 (役職等: 事務局長)		

■ヒアリング内容 (白抜き文字は当該団体への個別の質問)

1. 活動のきっかけ(背景)と目的

Q. 活動のきっかけ(背景): ・いつごろ・どのような理由で活動したか・誰がどのように呼びかけたか
○15年前に寝屋川再生ワークショップの公募があり、そこに集まった60人の市民の活動からはじまった。
Q. 目的: 当初の目的と現在の目的(変化していないもの、追加されたものなど)
○水辺空間の再生から、水辺空間及び周辺地域の活性化に活動が変化した。

2. 取り組み状況

Q. 活動場所、活動内容、活動体制、活動資金
○現在4部会(環境、親水、歴史・文化、清掃)で活動している。 ○環境部会は、花や植物に関する活動を行っている。 ○親水部会は、ボートを浮かべ水上から陸地を眺める視点で活動を行っている。 ○歴史・文化部会は、井戸などの川沿いの歴史資源にスポット当てた活動を行っている ○清掃部会は寝屋川市と一緒にクリーンリバーの活動を行っている。前回は12地点で実施し、合計400人が参加した。 ○会費は月2000円。基本は通信費で使用。4部会にそれぞれ月2~3回の情報を提供している。 ○事務局は事務局長の自宅または、水・みどり室 河川担当 ○活動場所は、淀川河川公園(占野地区)、駅前のせせらぎ公園、幸町公園、川勝町水辺ひろば、公園墓地 ○活動日: 淀川(第3日曜日)、寝屋川(第2土曜日)、クリーンリバー5月、11月、野鳥観察2月 ○淀川の活動については、外来種の駆除(魚類: ブラックバス、ブルーギル、植物: ナガエツルノゲイト、ミズヒマワリ、ホテイアオイ、ミズヒマワリ)。また、質を高める取り組みとしてイタセンパラの生息環境の再生に取り組んでいる。
Q. 自治会等地元地域や地元活動団体との連携について
○寝屋川沿いの35自治会と連携し、クリーンリバー作戦を実施している。 ○寝屋川の源流である交野市の里山間伐を行っている。 (交野市や間伐団体(交野友友会)の行事として実施。大阪府枚方土木40人がサポート)

Q. 新規メンバーの加入状況について

特になし

Q. 活動の成果（自己評価、地域住民、行政などからの評価）

○活動受賞経歴

- ・国土交通省より 2 回
- ・総務省 1 回
- ・大阪府

Q. 活動を継続できている一番の理由

○行政のバックアップ（資機材やクリーンリバー作戦の時は、移動距離が長いので、ダンプ 1 台、バン 1 台 公用車を貸してくれる）や 1 週間に 1 回、寝屋川市河川担当との打合せ、情報交換

○月 1 回開催する 4 部会（役員会）の情報交換会の実施

3. 課題や解決方法について

Q. 課題（立ち上げ期、から中間期、現在まで）

○会報を年 4～5 回作成し、配付していたが、最近では作業する人材がおらず、発行できていない。

○活動を広げたいが、年齢の問題もあり、困難であることから、会員の若返りが課題

○今後、萱島ポンプ場流域や十二水路での活動に取り組んでいきたい。

Q. 活動を継続していくことや活動の発展を考えるにあたって、具体的にはどのような支援策があれば良いと思うか

○市の広報で PR や情報発信をしてもらうことが最善策と考えている。

○社会貢献の一環で企業や大学に参加してもらう。

3. 大和町自治会

■ヒアリング先 基礎情報

ヒアリング先名	大和町自治会	区分	自治会
実施日時	2017年12月18日(月) 15時30分～16時30分		
ご担当者名	中村 嘉彦 様(役職等:自治会長)		

■既存情報

・HP、既存資料、アンケート自由意見等	<ul style="list-style-type: none">・http://ohtoshisg.webcrow.jp/top/index.html・大和公園の田常管理・周辺住民の利用状況など(別紙)・アンケート自由意見 <p>寝屋川公園は植木、花、芝、散歩道その他設備等充実しているが、一般市内の公園は少なく手入れも不足していると思う(みどりが少ない) 幼児からお年寄りまで遊べる公園がない</p>
---------------------	--

■ヒアリング内容(白抜き文字は当該団体への個別の質問)

1. 活動のきっかけ(背景)と目的

Q. 活動のきっかけ(背景): ・いつごろ・どのような理由で活動したか・誰がどのように呼びかけたか

○大和公園や他の公園をつなぐ。

2. 取り組み状況

Q. 活動場所、活動内容、活動体制、活動資金

○活動場所 大和公園、ふれあいの散歩道

○四季の花が咲き一年中花が楽しめるようにしている。

○市から苗を提供、富山からチューリップの球根をもらって10月末から11月中旬に植えている。ノー

○スポールは自分たちで種を確保し、植えている。

○活動の主要メンバーは6名程度

Q. 公園で育てた草花をどのように地域に展開しているか(具体的なしくみ)

○チューリップの球根やひまわりの苗を地域住民や老人介護施設に配付。

Q. 自治会を超えた協力者や連携先などどのようにして集めておられるか。(活動の広がりなど)

○自治会外には特に呼びかけはしておらず、口コミなどで来られる方を受け入れている。

○学校と連携した行事などは制約があり難しい。

Q. 幅広い年代が公園を利用する理由は（特に若い世代や保育園の利用）

○公園の計画を検討する際、子育て中のお母さんと呼んで、植栽の死角をなくすことや築山を設けて子どもが楽しめるようにするなどの意見を聞いた。

Q. イベント運営や補修費用の捻出のしくみ（公園利用が増えるとともに前記の費用も増えることへの対策）

○盆おどりなどできるだけ気軽にできるものから実施した。その後、ジャズコンベンションなどのイベントを増やしていった。チューリップの花びらを貼り絵にしたアートを実施したり、チューリップ球根や花を販売した。

Q. 活動の成果（自己評価、地域住民、行政などからの評価）

○安全、安心な公園として小学校区外から自転車で子どもが訪れる。また、木田、本町から保育園が園外保育で大利公園を訪れる。（利用圏域が広がっている）

Q. 課題

○学校と連携した行事などは制約があり難しい。

大利公園の日常管理・周辺住民の利用状況など

平成29年12月6日

大利町自治会

会 長 中村 嘉彦

美化緑化委員長 服部 幸男

美化緑化副委員長 齊藤 了一

大利公園は平成20年4月に開設以来約10年を経過、京阪電車寝屋川市から徒歩5～7分、大利神社及び府営大利住宅に隣接し周囲が一带となった公園立地となっている。より広い面積が借景となる。

※1大利町公民館前からふれあいの散歩道までは水路敷でつながり、全体を合わせて公園として管理実施

※2大利町公民館前からふれあいの散歩道まで及び大利公園の花壇には四季の花が咲き一年中花が楽しめるように草花を植え付け（草花の種を収穫し、翌年種から育てている）

・桜、はなみずき、チューリップ、ひまわり、皇帝ダリア、菊、松葉ボタン、水仙など

※3大利公園では子ども達の遊んでいる姿がどこからでもわかるように視野を塞がない配置をしている。



日常的な管理は大利町自治会美化緑化委員会を中心に地域住民や大利町老人クラブ、子ども会、公園利用団体有志等の協力で行っている。

また、少しでも多くの皆さんに知って貰うためにチューリップやひまわり等の植え付けは自治会のイベントとして実施している。(植え付け時の写真を花壇に常時掲示)

大利公園の管理状況及びイベントとしての利用状況は「大利町自治会」HPにて都度開示しています。

1. 日常的な管理

①美化緑化委員会を中心に日曜日を除く毎朝、大利公園周辺のごみ拾いを実施(雨天時は中止)

※自治会の美化緑化委員長、同副委員長の2名が中心となって推進。

②花壇の除草(適宜実施)、築山周辺の草刈りは状況により年間3～4回実施

※自治会の美化緑化委員長、同副委員長の2名、及び地域の協力者(池田南町 平井氏)

③花壇への散水(天候を見ながら適宜散水実施、雨の日の後は少なく、日照り続きは頻度が多い)

※特に夏場の日照りが続くときは朝夕の散水が必要な時もある。

④公園には桜、はなみずき等の花木やどんぐりのなる檜等を植え、日中には日陰が確保できるように工夫しながら配置している

⑤ふれあいの散歩道を含む公園の花壇への草花植え付け

- ・10月末から11月中旬にチューリップの球根約4,000個植え付け
 - ・チューリップが終わった次期(4月末頃)に花壇にひまわりのなえ植え付け
 - ・その他に花壇には年中何らかの花が咲くように、花の苗等を植え付けている
- ※皇帝ダリア、菊、水仙・・・など

⑥公園で咲いた草花は、希望があれば地域住民の皆さんにも切り花として提供している

⑦公園で咲いた草花を自治会がお世話になっている寝屋川市役所の職場にも提供している

⑧同様に地域のお年寄りの集まりや、老人介護施設などにも草花を提供している

2. 公園の利用状況

- ①大利公園利用状況で特筆すべきはお父さんやお母さんに連れられて乳幼児が多く利用している
※大利町に限らず自転車で遠方（点野など）からも利用者が訪れる
- ②周辺地域の保育園児（市役所近くや木田町及び池田、長栄寺、錦町など）が園外保育に利用、複合遊具や築山及び花壇の草花や昆虫類に触ってを楽しんでいる。（現在4～5保育園が利用）
- ③小中学生は友達どうして集まり、楽しく遊んでいる。（池小校区、成美小校区が多いが他市の子どもも利用）
- ④地域の老人介護施設などの皆さんも散歩コースや屋外活動に利用している。
- ⑤地域の高齢者の利用は日向ぼっこや散歩の利用が多く、乳幼児や保育園児、小中学生の遊ぶ姿を見ながらベンチなどに座って微笑ましく見ている。
- ⑥高齢者用の遊具は、少ない公園であるが、ぶら下がり、反り返りベンチ、腰回し遊具等を利用している。
- ⑦利用時間帯によって利用者層は異なるが、概ね多くの階層の皆さんが入れ替わり常に誰かが利用している。
※世代間交流の場となっており、地域の見守りにも効果があると思っている。

3. 年間計画による公園のイベントとしての利用状況

- ①大利公園では地域交流のイベントとしての利用も多く寝屋川市民だけでなく周辺市からの参加者も多く喜ばれている。

4月:寝屋川チューリップアートの集い(大利町自治会、近畿富山県人会共同主催)

近隣の小中学生、保育園や地域団体約10団体が参加、特色のあるオリジナルデザインのアート作品を制作、学校園に持帰り展示や市立エスポールに展示して地域の皆さんにも約1ヶ月間楽しんで貰っている

7月:大利町ふれあい盆踊り大会(7月24日～5日の2日間開催)

大利町自治会主催であるが、多くの寝屋川市民(2日間で約3,500名)や周辺市の皆さん(遠くは岸和田市からも来訪があった)が集まって2日間盆踊りを楽しんでいる。

※1前半の18時～19時は子ども達を中心に「子ども盆踊り大会」を継続実施している

※2踊り子の休憩タイムにプロ級の演者による「フラダンス」「ベリーダンス」も各々30分間実施し、盆踊り参加者に喜ばれている

9月:知輪会主催で「越中おわら踊り大会 in 寝屋川」(大利町自治会、近畿富山県人会協力)

知輪会(さとわかい)を中心に寝屋川市民及び大阪市など近隣府県から約500名の愛好者が集まり、おわら踊りを楽しんでいる。

10月:今年10月に北海道からアイヌ古式舞踊団13名を招聘したが、あいにくの台風襲来で大利町公民館に会場を移して実施し多くの皆さんにアイヌ文化を学んで貰った。

※1大利町自治会主催、公益法人アイヌ文化振興・研究支援機構 助成事業 ～アイヌ民族文化を学ぶ～

※2 後援:寝屋川市・寝屋川市教育委員会

※3大利町公民館以外に、寝屋川市駅前・市立エスポール・大阪城公園でもアイヌ舞踊を披露した

4. 日常的に公園を利用した行事

①大利町自治会主催で日曜日と年末年始を除く毎日下記を実施

・早朝7時(冬季は7時30分)80～100名が参加してラジオ体操(第一、第二)で健康増進をしている

※大利町、北大利町、池田東町、若葉町、池田旭町、長栄寺町、清水町、仁和寺町等から参加

・ラジオ体操の前後に有志(50～60名)が参加して「太極拳」の練習

②毎週木曜日8時30分～10時、大利町自治会主催で「グランドゴルフ」実施

③毎週金曜日8時30分～10時、長栄寺町自治会主催で「グランドゴルフ」実施

④夏休みには、大利町子ども会と池田校区地域協働主催でラジオ体操(大人と一緒に)

⑤夏休みのラジオ体操初日終了後に、大利町子ども会主催による「スイカ割り大会」

5. 公園管理上で困る点

①大利公園では日中は子ども達又は乳幼児を伴った父母や高齢者による利用が中心で特に問題点は少ない。

②中高校生を含む夜間利用者が公園での飲食後に容器や残飯等をそのまま捨てている。

※毎日レジ袋1～2袋のごみが回収される(大利町美化緑化委員や地域住民が回収)

③公園では犬の散歩をさせる人も多く、糞の始末が悪い人がいる。

④鳩などに餌を与える人がおり、公園利用者の苦情にもつながっている。

※③④は大利町自治会でも協力お願いの看板を作成・掲示しているが効果は少ない

⑤今後の課題としては、公園管理に協力してくれる人材多くしていく取組が必用。

6. その他

①大利町公民館前～大利公園～ふれあいの散歩道には四季折々の花が咲くようにしており近隣住民以外にも草花を撮影するために多くのカメラマンの姿が見られる。

②公園などの手入れ、除草、草花植え付けなどの時には、行き交う近隣住民から「いつもきれいな花を咲かせていただき楽しませてもらっています」との激励と感謝の言葉が多く聞かれるようになってきています。

※ふれあいの散歩道は市場などへの買い物で多くの市民が通行している

③大利町内外の各家庭で植木鉢などの土が不要となり、新しい土に入れ替える場合には不要な土を大利公園の花壇で引き取り地域住民の方に喜ばれている。(大利町に限定せず広く受け入れている)

※寝屋川市の協力で土を適宜追加しているが不足気味、公園としても各家庭としても両方が助かる取組である。

④公園の樹木をボール遊び又は悪戯で折られることがあり、都度、自治会役員が修復している。

※桜等の樹木の枝が折られる、花壇に立入草花を踏み荒らすなど、補修や追加植え付けをしている。

接続された「ふれあいの散歩道」の状況

平成28年8月15日

寝屋川市 水・みどり室
 寝屋川市 道路建設課
 大利町自治会 美化緑化委員会

(大利公園と友呂岐緑地を結ぶ散歩道 平成25年3月開設)

壁画:寝屋川の四季(2016年8月7日 二中美術部制作)



道路添いに植木鉢



吊り下げ型の
植木鉢など



チェリーソフ
ひまわり植栽



ひまわり満開(夏)



市道池田琴線

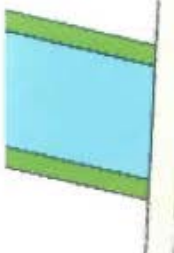
複合遊具で遊ぶ
保育園の園児



公民館前からふれあいの
散歩道まで管理緑地が
つながっている

大利公園

チェリーソフ満開(春)



寝屋川市駅

壁画:フラワー(花)
(2016年8月7日 二中美術部制作)



4. 三井小学校

■ヒアリング先 基礎情報

ヒアリング先名	三井小学校	区分	学校
実施日時	2017年12月19日(火) 10時00分～11時00分		
ご担当者名	岡野 香里 様(役職等:教頭)		

■既存情報

アンケート自由意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・地域と協働した取組(ウォークラリー) ・環境推進課との取組(グリーンカーテン) ・環境推進課から毎年ゴーヤの苗を頂けるのは、本校のグリーンカーテンの取組を行ううえで、大変助かっています。 ・グリーンカーテンの取組 ・社明と協働して地域を散策し、いもほりを実施している。
------------	--

■ヒアリング内容(白抜き文字は当該団体への個別の質問)

1. 活動のきっかけ(背景)と目的

Q. 活動のきっかけ(背景): ・いつごろ・どのような理由で活動したか・誰がどのように呼びかけたか
福祉委員会の川崎氏(社明、地域教育協議会メンバーを兼ねる)を中心にメンバーと連携して取組みはじめたことがきっかけ

2. 取り組み状況

Q. 活動場所、活動内容、活動体制、活動資金
<p>○十中、三井小、宇谷小のグループで地域の史跡をめぐり、最後にねやの農園でいもほりを行う。(ねやの農園は福祉委員会川崎氏の農園) 地産地消の取組となっている。</p> <p>○地域の住民と交流できるように体育館でのクリスマス会や正門周辺のイルミネーションで飾り、点灯式のイベントを地域の住民と一緒に実施している。</p> <p>○その他、環境推進課から毎年ゴーヤの苗を提供してもらい、グリーンカーテンの取組を行う。また、学校支援ボランティアと連携し、花壇づくりを行っている。</p>
Q. 活動の成果(自己評価、地域住民、行政などからの評価)
○子どもが顔見知りの地域の方々とかかわり色々な体験ができるので、ストレスを感じずに活動できている。
Q. 活動を継続できている一番の理由
○こどもを核にし、親子や地域住民が参加できるようにすること。

3. 課題や解決方法について

Q. 課題（立ち上げ期、から中間期、現在まで）
<p>○教頭先生が窓口となっており、連絡調整などは主に教頭先生が担当。学校の体制で活動内容が左右される。</p> <p>○福祉委員会、地域協働協議会、社明などの各々の事業と連携して取組んでいるが、各組織メンバーはみんな同じのため、負担が大きいように感じる</p> <p>○OPTAの若い世代の参加で新しい色々なことができるが、1年1回の当て職のため、継続性が不安定。</p> <p>○種や苗の工面、学校では予算化できない。</p> <p>○学校緑化を含め植物の維持管理が難しい。（樹木の枝の剪定など）</p>
Q. 苦労や困った際にどのように克服したか
<p>○種や苗の工面、学校では予算化できないので、福祉委員会の活動費で提供してもらっている。</p>
Q. 活動を継続していくことや活動の発展を考えるにあたって、具体的にはどのような支援策があれば良いと思うか
<p>○一緒に活動を取組んでいただける地域住民とのつながりを大切にすること</p>

5. 秦の燈台守

■ヒアリング先 基礎情報

ヒアリング先名	秦の燈台守	区分	市民活動団体
実施日時	2017年12月20日(水) 10時00分 ~11時00分		
ご担当者名	石井 宏 様(役職等:代表)		

■既存情報

アンケート自由意見等	・地域(特に自治会)との協働、自治会及び住民の無関心に対する啓発
------------	----------------------------------

■ヒアリング内容(白抜き文字は当該団体への個別の質問)

1. 活動のきっかけ(背景)と目的

Q. 活動のきっかけ(背景): ・いつごろ・どのような理由で活動したか・誰がどのように呼びかけたか
○10年前から活動をしている。淀川には遠くていけないので、身近な寝屋川で活動を行っている。

2. 取り組み状況

Q. 活動場所、活動内容、活動体制、活動資金
○体制は1名 ○主に井ノ口橋~極楽橋までの区間の川の清掃を実施 ○月2回活動している。

3. 課題や解決方法について

Q. 課題(立ち上げ期、から中間期、現在まで)
○市民がボランティアに参加する術を知らない。 ○川はみんなものと思っている市民が少ない
Q. 活動を継続していくことや活動の発展を考えるにあたって、具体的にはどのような支援策があれば良いと思うか
○こどもと一緒に楽しめる自然観察会やバーベキューのイベント等楽しめるものが大事。 ○楽しめることをすると若者などみんなが川に訪れる機会が増える。

6. 西寝屋川高校（生物部）

■ヒアリング先 基礎情報

ヒアリング先名	西寝屋川高校（生物部）	区分	学校
実施日時	2017年12月20日（月） 13時00分～14時00分		
ご担当者名	池田 弘 様（役職等：教頭）		

■既存情報

<ul style="list-style-type: none"> HP、既存資料、アンケート自由意見等 	<p>https://www2.osaka-c.ed.jp/nishineyagawa/news/tikikatudo20171020.html</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域連携において活躍中 <p>本校生物部が参加協力している寝屋川ユースネット（摂南大エコシビル部・ゼミ、大阪府大高専、大阪電気通信大、府立西寝屋川高校生物部、ねや川水辺クラブJr、ぽぽっぽくらぶ、ねや川水辺クラブ）が、第10回“いい川”・“いい川づくり”ワークショップで準グランプリを受賞しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> アンケート自由意見 <p>みどりに関する活動目的：部活動の活性化</p>
--	---

■ヒアリング内容（白抜き文字は当該団体への個別の質問）

1. 活動のきっかけ（背景）と目的

Q. 活動のきっかけ（背景）：・いつごろ・どのような理由で活動したか・誰がどのように呼びかけたか
○2年前ねや川水辺クラブ上田氏から淀川まるごと体験への参加について誘われたことがきっかけ。
Q. 目的：当初の目的と現在の目的（変化していないもの、追加されたものなど）
○学校緑化については、PTAなどがプランター緑化を自前で実施している。花の育成については、水遣り（自動散水装置の製作などを含む）を先生が行い、苦情などの対応は事務室で行っている。
○大豆を植えて、豆腐作りを行っている先生もいる

2. 取り組み状況

Q. 活動場所、活動内容、活動体制、活動資金
○活動内容は地域のイベントイチョウ祭り（秋）やクリーンリバー作戦（春）への参加
○イチョウ祭り時に、芝人形づくりや葦笛づくりのブースを出展している。
○現在生物部は3名。しかし、イチョウ祭りの時には生物部以外の生徒も出展者として参加する。
○芝人形の製作は部活援助費で捻出している。

Q. 寝屋川ユースネットの会議の地域、活動団体とのかかわり、会議の継続性や発展性について

ねや川水辺クラブ上田氏がまとめ役となって西寝屋川高校、府立高専、摂南大学、大阪電通大の指導者同士などの情報交換会（第1回）を実施した。今後このユースネットがプラットフォームになるように継続して活きたい。

Q. 活動を継続できている一番の理由

○点野小学校に出前講座で生徒に芝人形づくりを教えに行ったこともあり、その時の部員のモチベーションは非常に高かった。

3. 課題や解決方法について

Q. 課題（立ち上げ期、から中間期、現在まで）

- 生物部員の継続的な確保
- 摂南大学等との活動連携や情報交換・発信

Q. 苦労や困った際にどのように克服したか

メモ欄

Q. 活動を継続していくことや活動の発展を考えるにあたって、具体的にはどのような支援策があれば良いと思うか

- ユースネットでHPを立ち上げるなど

7. アスパラの会

■ヒアリング先 基礎情報

ヒアリング先名	アスパラの会	区分	市民活動団体
実施日時	2017年12月20日(水) 15時00分～16時00分		
ご担当者名	吉岡 文子 様(役職等:会長)		

■既存情報

・HP、既存資料、アンケート自由意見等	<ul style="list-style-type: none">・http://www.neyagawa-shakyo.or.jp/item/vg/v042.html・環境福祉ボランティア 活動目的：食を通して現在抱えている問題点の中から野菜不足を取り上げ摂取量だけでなく、野菜を身近に感じ、野菜好きを増加し、畑仕事を通し心の癒しをはかりたい 主な活動内容：料理教室・野菜栽培・コンテナ野菜作り講演会 <ul style="list-style-type: none">・アンケート自由意見 今後後継者不足で遊休地が、打上・寝屋地区に増えていきます。草が生え、草刈りにも高い費用が必要な中、みどりの美化を維持できる活動に、ご協力ねがいます。
---------------------	--

■ヒアリング内容(白抜き文字は当該団体への個別の質問)

1. 活動のきっかけ(背景)と目的

Q. 活動のきっかけ(背景)：・いつごろ・どのような理由で活動したか・誰がどのように呼びかけたか
○20年前、食育の会としてエコクッキング(無農薬野菜を使ったクッキング)に取り組んだことがきっかけであった。
Q. 目的：当初の目的と現在の目的(変化していないもの、追加されたものなど)
○当初エコクッキングが目的であったが、無農薬野菜を自分たちで作ろうということになり、遊休農地を活用して野菜づくりを行うことになった。 ○しかし、農地を借りることにハードルが高く、いろいろ市内の農地を探しながらようやく借りることができた。その一方で営農希望者がいるにもかかわらず、遊休農地は増え続け、ミスマッチが起こり始めていた。そこで、自分達のネットワークで現在遊休農地となっている土地の所有者と営農を希望する市民同士を紹介し、農業に携わってもらうことで、市内の農地の保全に貢献している。これも活動目的となっている。

2. 取り組み状況

Q. 活動場所、活動内容、活動体制、活動資金
○会員は14名 ○月に1回、畑づくり、野菜などの育成に関する勉強会を実施している。 ○農業をしたいひとと農家との橋渡しをしている。(コーディネート)

Q. 活動を継続できている一番の理由

その時に発生した課題を克服するために必要なテーマを再度設定し、取組んだこと（エコクッキング、から活動の場紹介へ）

3. 課題や解決方法について

Q. 課題（立ち上げ期、から中間期、現在まで）

○次の世代の後継者がいない。

Q. 苦労や困った際にどのように克服したか

○エコクッキングの活動を卒業する際は、これまでのクッキングのレシピを作成し、後継者に引き継いだ。

Q. 活動を継続していくことや活動の発展を考えるにあたって、具体的にはどのような支援策があれば良いと思うか

○遊休地の存在を把握できるように市でリスト化して欲しい。

○農地を借りる場合、講習を受けないと借りられず、これがハードルとなっている。

8. 第九中学校

■ヒアリング先 基礎情報

ヒアリング先名	第九中学校	区分	学校
実施日時	2017年12月25日(月) 10時00分～11時00分		
ご担当者名	草野 保幸 様(役職等:教頭)		

■既存情報

<ul style="list-style-type: none"> HP、既存資料、アンケート自由意見等 	<ul style="list-style-type: none"> ・http://www2.city.neyagawa.osaka.jp/school/j/dai9/ <ul style="list-style-type: none"> ・生徒たちが地域の行事などにかかわるボランティア活動(別紙) <ul style="list-style-type: none"> 夏の盆踊りに生徒会と希望者が踊り子として参加 各クラブが、年4回の駅前清掃や自治会の餅つきなどに積極的に協力 ・アンケート自由意見 <ul style="list-style-type: none"> ひまわりプラン(九中校区地域教育協議会主催)
--	---

■ヒアリング内容(白抜き文字は当該団体への個別の質問)

1. 活動のきっかけ(背景)と目的

Q. 活動の(ひまわりプラン)きっかけ(背景): ・いつごろ・どのような理由で活動したか・誰がどのように呼びかけたか

○いじめ事案の発生により、学校、保護者、地域が同じ方向を向いて子供の健全育成に取り組むシンボルとしてヒマワリを植えることになった。

2. 取り組み状況

Q. 活動場所、活動内容、活動体制、活動資金

○ひまわりを植える活動場所は九中と中学校地域

○九中においては、生徒、職員、PTAで花壇・プランターに植栽し、校長・教頭(平日)とPTA(休日)水遣りを行っている。

Q. ひまわりの花をどのように地域に展開しているか(具体的なしくみ)

○地域においては地域教育協議会事務局と連携し、自治会長から校区8600戸全戸にヒマワリの種を配付している

Q. 地域教育協議会について(小学校、自治会との連携や親世代のかかわりなど)

○こども食堂に取組んでおられるお二人(本校学校評議委員)が、全戸配付に協力いただいている。ヒマワリを植える取組みの提案を最初にいただいた。

Q. 活動の成果（自己評価、地域住民、行政などからの評価）
<p>○盆踊りに参加するなど生徒が地域の住民と話す機会や交流する機会が増えた。</p> <p>○チョボラ隊（チョット ボランティア）をクラブ単位で実施し、地域の持ちつき大会へ参加。</p> <p>○地域の方は子ども達を見守り、色々面倒を見てくれるようになった。中学生への意識が変わった。</p>
Q. 活動を継続できている一番の理由
<p>○地域を巻き込んでいること。その手法として、フォトコンテストやはっぴを製作して取組んでいることの価値の共有を図っている。</p>

3. 課題や解決方法について

Q. 課題（立ち上げ期、から中間期、現在まで）
<p>○教職員の人数や時間も限られており、これ以上、ヒマワリ活動を他地域に展開したり、地域のイベントに参加することは難しい。</p> <p>○PTA との連携や、その中での「おやじの会」は力仕事など非常に良く協力いただいている。</p>
Q. 苦労や困った際にどのように克服したか
<p>○頭ごなしに言いつけず、丁寧に説明を行うこと。</p>

9. 石津南自治会

■ヒアリング先 基礎情報

ヒアリング先名	石津南自治会	区分	自治会
実施日時	2017年12月25日(月) 14時00分 ~15時00分		
ご担当者名	田中 幹春 様(役職等:自治会)		

■既存情報

アンケート自由意見等	我が地域では秋に水路一方通行に面した側面にチューリップを自治会で300球を植えている。両側には住宅がなく色花がないため。先月の入学式のころに満開になって皆から喜ばれている。金銭的な助成があれば助かります。一万円くらいがいる。
------------	--

■ヒアリング内容(白抜き文字は当該団体への個別の質問)

1. 活動のきっかけ(背景)と目的

Q. 活動のきっかけ(背景): ・いつごろ・どのような理由で活動したか・誰がどのように呼びかけたか
○水路沿いの住宅地単位で緑化に取り組んでいるが、住宅地が無い場所は緑化されておらず、殺風景であったため、花で修景しようということになった。

2. 取り組み状況

Q. 活動場所、活動内容、活動体制、活動資金
○水路一方通行に面した側面にチューリップを自治会で300球を植えている。 ○基本は会長が一人で活動している。
Q. 花壇周辺での地域イベントなど
○自治会に存在する公園で盆踊りなどを実施している。

3. 課題や解決方法について

Q. 課題(立ち上げ期、から中間期、現在まで)
○チューリップの予算の確保(以前は自治会費で捻出していたが、反対されて予算化されていない。) ○活動メンバーの高齢化 ○石津南町には公共スペースに花を植える場所が少ない。 ○現在植えている箇所も道路沿いのため、非常に危険。
Q. 活動を継続していくことや活動の発展を考えるにあたって、具体的にはどのような支援策があれば良いと思うか
○花を植える空地を確保してほしい。